【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成30年7月26日(2018.7.26)

【公開番号】特開2018-61594(P2018-61594A)
【公開日】平成30年4月19日(2018.4.19)
【年通号数】公開・登録公報2018-015
【出願番号】特願2016-200234(P2016-200234)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成30年6月13日(2018.6.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
位置制御可能な１対の駆動源と、それら１対の駆動源により別々に駆動されて互いに対称に動作する１対の可動部とを備える遊技機において、
前記１対の駆動源の出力が互いに同じ向きとなるように位置制御する位置制御手段と、
前記１対の駆動源の出力が互いに逆向きになって前記１対の可動部に付与されるように前記１対の駆動源を前記１対の可動部に接続する反転接続機構とを備え、
前記１対の駆動源が、共通の駆動回路に並列接続され、
前記１対の駆動源は、回転出力軸を有する端面が同じ向きに配置された１対のモータであり、
前記反転接続機構は、一方の前記モータと一方の前記可動部との間と、他方の前記モータと他方の前記可動部との間との何れか一方又は両方に備えられ、総数が奇数になっているアイドルギヤである遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記目的を達成するためになされた請求項１の発明は、位置制御可能な１対の駆動源と、それら１対の駆動源により別々に駆動されて互いに対称に動作する１対の可動部とを備える遊技機において、前記１対の駆動源の出力が互いに同じ向きとなるように位置制御する位置制御手段と、前記１対の駆動源の出力が互いに逆向きになって前記１対の可動部に付与されるように前記１対の駆動源を前記１対の可動部に接続する反転接続機構とを備え、前記１対の駆動源が、共通の駆動回路に並列接続され、前記１対の駆動源は、回転出力軸を有する端面が同じ向きに配置された１対のモータであり、前記反転接続機構は、一方の前記モータと一方の前記可動部との間と、他方の前記モータと他方の前記可動部との間との何れか一方又は両方に備えられ、総数が奇数になっているアイドルギヤである遊技機である。